

# 2009年度 日本動物学会関東支部総会 議事次第

## 議長選出

- 1.開会
2. 第61回支部大会長挨拶  
(町田武生大会長 / 埼玉大学)
3. 支部長挨拶 (筒井和義 支部長)
4. 庶務報告 (和田洋 庶務委員)
5. 会計報告
  - 1) 2008年度決算案 (田中浩輔 2008会計委員)
  - 2) 2008年度決算監査報告 (福田公子 監査委員)
  - 3) 2009年度予算案 (兵藤晋 2009会計委員)
6. 会計監査委員の選出
7. 企画報告 (黒川信 企画委員)
8. 広報報告 (阿部秀樹 広報委員)
10. 第62回支部大会長挨拶  
(山岸宏 次期大会長 / 筑波大)

# 庶務報告

2009 (2008 2007)

會員狀況 922 (889, 957)人

一般 604 (607, 634)人

學生 242 (204, 236)人

高齡 11 ( 11, 13)人

中高教員 21( 24, 26)人

永年 36 ( 36, 41)人

名譽 7 ( 7, 7)人

高校生 1 ( 0, 0)人

# 2008年度活動報告

## 日本動物学会関東支部第60回大会

2008年3月22日(土曜日)10時-18時30分  
東京大学大学院総合文化研究科

一般発表(ポスター発表兼口頭発表) 33件  
(含、中高校生のポスター発表 1件)  
ポスター発表のみ 12件

招待講演 「動物の運動のアクア・エアロダイナミクス」

『マルハナバチの高度制御』

河内啓二・田中健作(東大・工・航空宇宙工学)

『イルカの音響探索能力と行動決定』

赤松友成(水産総研・水産工学)

合計47演題

参加者数144人(中高校生等47人含む)

# 支部主催公開講演会

## 動物の“超”感覚

-ヒトの知らない驚異の世界-

2008年7月19日(土) 14:00 ~ 17:00

東京大学理学部2号館講堂(東京都文京区本郷)

蟻川 謙太郎(総合研究大学院大学先導科学研究科)

「チョウと人間,目がいいのはどちら？」

-昆虫の見る世界を考える-

長井 孝紀(慶應義塾大学医学部)

「砂漠のヒキガエルの皮膚感覚」

松下 敦子(総合研究大学院大学先導科学研究科)

「弱電気魚を知っていますか？」

-太古から電気を使う生き物がいた-

赤松 友成(水産総合研究センター水産工学研究所)

「イルカの“超”音波感覚」

参加者数: 114名(うち高校生3名、教員11名を含む)

## 資料3

### 平成20年度 日本動物学会関東支部 決算

#### 1. 収入の部

科目	平成20年度 予算案 (円)	平成20年度 決算 (円)	収支 (円)
支部会費 第1回分	350,000	¥168,000	¥182,000
支部会費 第2回分	250,000	¥355,200	¥-105,200
支部会費 第3回分	0	¥96,800	¥-96,800
支部大会収入	100,000	¥140,016	¥-40,016
雑収入 (利息等)	200	¥1,410	¥-1,210
今期収入合計	700,200	¥761,426	¥-61,226
前期繰越金	1,076,852	¥1,076,852	
合計	1,777,052	¥1,838,278	¥-61,226

#### 2. 支出の部


科目	平成20年度 予算案 (円)	平成20年度 決算 (円)	収支 (円)
支部大会開催費	400,000	¥535,255	¥-135,255
企画費	300,000	¥259,406	¥40,594
支部ニュース印刷出版費	100,000	¥33,000	¥67,000
選挙管理費	250,000	¥225,216	¥24,784
旅費・交通費	50,000	¥43,440	¥6,560
消耗品費 (コピー代等)	10,000	¥0	¥10,000
雑費 (送金手数料等)	10,000	¥1,575	¥8,425
今期支出合計	1,120,000	¥1,097,892	¥22,108
今期収支		¥-336,466	
次年度繰越金	¥657,052	¥740,386	¥-83,334
合計	¥1,777,052	¥1,838,278	¥-61,226

## 資料4

### 平成20年度会計監査報告書

社団法人日本動物学会関東支部の平成20年度収支決算報告に際し、会計出納記録、銀行通帳および利用明細書、領収書などの監査を行い、決算に誤りのないことを確認いたしました。

(社) 日本動物学会 関東支部  
平成 20年度会計監査  
2009年 2月18日

福田 公子 

## 資料5

### 平成21年度 日本動物学会関東支部 予算

#### 1. 収入の部

科目	平成21年度 予算案 (円)	平成20年度 決算 (円)
支部会費 第1回分	250,000	¥168,000
支部会費 第2回分	350,000	¥452,000
支部大会収入	100,000	¥140,016
雑収入 (利息等)	1000	¥1,410
今期収入合計	701,000	¥761,426
前期繰越金	740,386	¥1,076,852
合計	1,441,386	¥1,838,278

#### 2. 支出の部

科目	平成21年度 予算案 (円)	平成20年度 決算 (円)
支部大会開催費	400,000	¥535,255
企画費	300,000	¥259,406
支部ニュース印刷出版費	0	¥33,000
選挙管理費	0	¥225,216
旅費・交通費	50,000	¥43,440
消耗品費 (コピー代等)	5,000	¥0
雑費 (送金手数料等)	5,000	¥1,575
今期支出合計	760,000	¥1,097,892
次年度繰越金	¥681,386	¥740,386
合計	¥1,441,386	¥1,838,278

資料6

日本動物学会関東支部

2009年度公開講演会実施

# 東京に生きる 動物たちに学ぶ

2009年7月18日(土)13～17時

早稲田大学大久保キャンパス

東京メトロ副都心線西早稲田  
駅徒歩0分

2009年動物学会関東支部 企画委員  
尾田正二、松本緑、岡野俊行 黒川信



大都市とともに奥多摩、東京湾など山海の豊富な自然まで多様な環境をもった東京。

人間活動の影響を大なり小なり受けながら、そこに我々と一緒に暮らす様々な動物たち。

近年の地球温暖化に伴う環境の変動。東京に暮らす動物たちにも確実に影響が。

「東京」に生きる動物たちを対象とした研究の紹介を通して地球環境と生き物たち、そして人間活動との関わりについて考える。

講演会企画趣意書より

演者と演題（仮題、順番未定）

1. **ミツバチ、大都会に生きる**

（玉川大学 交渉中）

2. **東京に住み着いた**

**ワカケホンセイインコ**

（京都大学野生動物生態センター 幸島司郎）

3. **多摩の里山に棲む**

**トウキョウサンショウウオ**

・忍び寄る地球温暖化と外来種の脅威・

（首都大学東京生命科学専攻 草野 保）

4. **東京湾で育まれ都会の川を上る**

**アユ**

・東京湾、都市河川の環境変化と

河川を横断する堰などの人工物・

（東京都島嶼農林水産総合センター 千野 力）

**パネルディスカッション**

## 企画の特徴

### 対象：中高生～一般まで

特に若い世代に対して広報、勧誘に努める。従来の広報活動に加え、支部会員等のご協力を頂いて大学生を通して、出身高校へのPR等。

### パネルディスカッション

講演会ホームページなどで質問、ディスカッションのテーマを募る。

事前申込み、テーマ応募の中高生（個人、グループ）に記念品。

### 生物部などの活動支援・協力・情報提供

コーナーを設ける？

**会員各位のご協力を  
お願い致します。**

資料7

# 広報報告

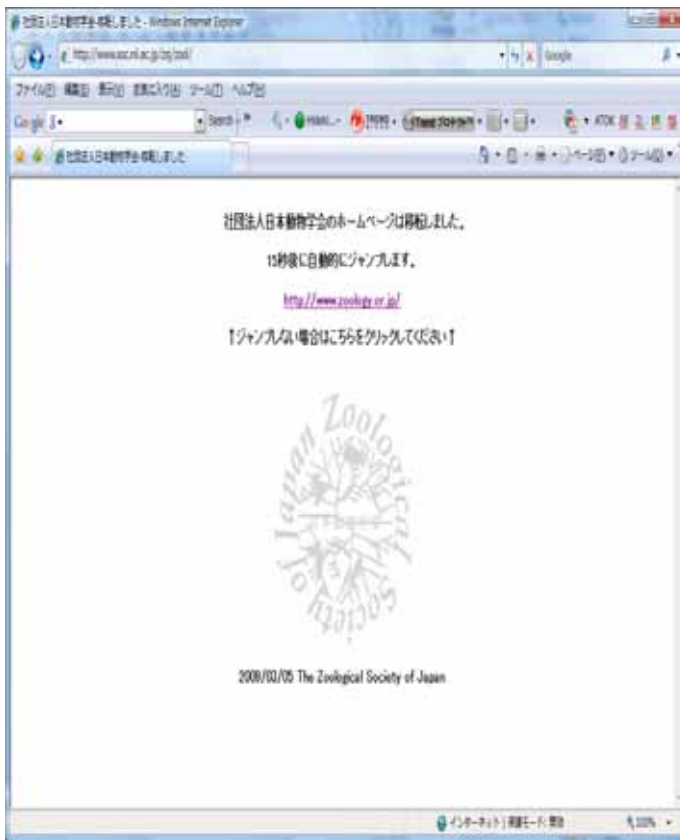
2009.3.20

動物学会関東支部

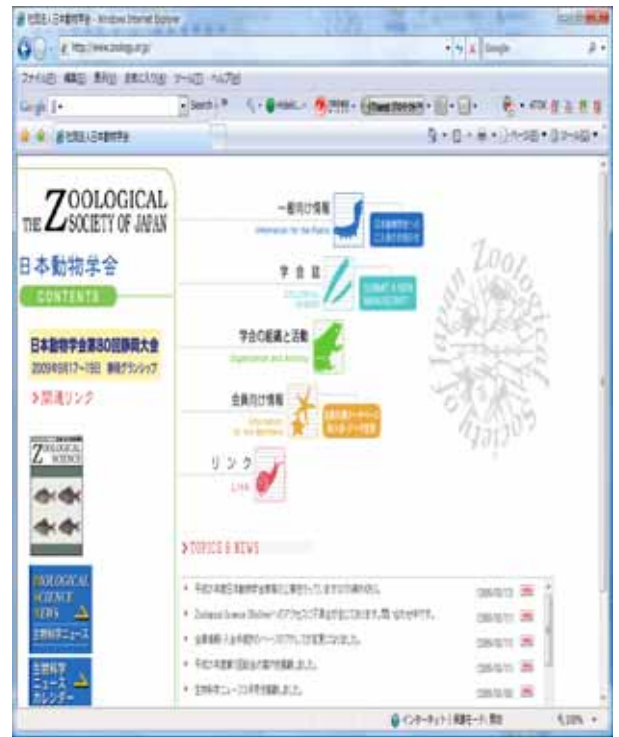
第61回大会総会

# 動物学会のHPが 新しくなりました

<http://www.soc.nii.ac.jp/zsj/zool/> から  
<http://www.zoology.or.jp/> になりました



# 新HPは、



- 基本的にこれまでのデザインを踏襲
- 迅速かつ正確な情報提供と、一般向けのアピールの場としての活用のため、サーバーおよび内部システムを変更
- 広報委員会(本部広報理事と各支部広報委員、生物科学ニュース編集委員から構成)によって随時更新
- 生物科学ニュースZ版の冊子体廃止に伴い、その内容はホームページにおいて随時掲載へ

# 支部HPも新しくなりました

<http://www.zoology.or.jp/kantou/>

- 支部HPのデザイン統一
- 旧HP内容は順次移行中  
(現在約70%を移行済)

TOPページの写真を  
支部会員から  
募集します

募集の詳細は  
今後支部HP・支部  
会員向けメールで

